ClientManager を WindowsXP SP2 で使用する場合の設定手順

設定手順は ClientManager のバージョンにより若干異なりますので、バージョンを確認し、該当する手順方法で設定を行ってください。

インストールされている ClientManager のバージョンは以下の手順で確認することができます。



ClientManager 製品のバージョン一覧は以下の通りです。 2005 年1月14日 現在)

バージョン	製品名
TYPE-S Ver8.00以上	ClientManager Sタイプ
Ver7.05以上	ClientManager Mタイプ
Ver7.05以前	ClienManager

お使いの製品が ClientManager、ClientManager M タイプの場合

1. ClientManager 管理コンピュータの設定

WindowsXP の Windows ファイアウォール」の例外タブに ClientManager で使用する下図の 4つのプログラム を登録します。「プログラムの追加(R)」を押し、 参照」から ClientManager がインストールされている CMN フォ ルダを指定し、プログラムを一つずつ登録します。

Windows ファイアウォールは、コントロールパネル / セキュリティセンターで表示します。

		<i>"</i>	
全角	g 例外 詳細設定		
ス w は	、力方向のネットワーク接続 indows ファイアウォールで 動作がよくなる場合もあり	急は、下で選択されたプログラムおよびサービスのためのものを除き、 ブロックされています。例外として追加することにより、プログラムによって しますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。	
フ	ログラムおよびサービス(<u>P</u>)		
	名前		
	 ▶ RF Mgr.exe ▶ RF Mgr.exe ♥ ScriptSrv.exe ♥ SHRFCMGR ■ UPnP フレームワーク ■ ファイルとプリンタの共有 ▶ リキート アシスタンス 	a	
	ロリモート デスクトップ		
1	プログラムの追加(<u>R</u>)	(ポートの追加(2)) 編集(2) 削除(2)	
	Windows ファイアウォー.	ルによるプログラムのブロック時(に)通知を表示する(N)	
12	<u> 外を許可することの危険</u>	の詳細を表示します。	
		OK 44721	
参照			? 🛛
参照 ファイルの場所()	CMN	UK ++>	? 🗙
参照 ファイルの場所で 最近使ったファイル デフクトッイ	CMN FReSrvexe RFMgr.exe ScriptSrv.exe ShrfCmgr.exe	UK ++>-27/	2
参照 ファイルの場所で 最近使ったファイル デスクトップ マイ ドキュメント	CMN Prestruexe RFMer.exe ScriptSrv.exe ShrfCmer.exe	UK ++7/12/4	2×
参照 ファイルの場所で 最近使ったファイル デスクトップ マイドキュメント マイ ニンピュータ	CMN PReSrvexe RFMgrexe ScriptSrv.exe ShrfCmgr.exe	UK ++7/2//	2×
参照 ファイルの場所で 最近使ったファイル デスクトップ マイドキュメント マイ ニンピュータ マイ ネットワーク	CMN PRESTVEXE RFMgrexe ScriptSrvexe ShrfCmgrexe		

2. ClientManager クライアントコンピュータの設定

WindowsXPの Windows ファイアウォール」の例外タブに ClientManager で使用する下図の 6つのプログラム を登録します。 プログラムの追加(R)」を押し、 参照」から ClientManager がインストールされている CMN フォ ルダを指定しプログラムを一つずつ登録します。 更に ワァイルとプリンタの共有」にチェック印を入れます。

19 W	indows ファイアウォー	- JL 🔀	
全般	皮 例外 詳細設定		
ېر w d	、力方向のネットワーク接続 Vindows ファイアウォールで 動作がよくなる場合もあり	表は、下で遅択されたプログラムおよびサービスのためのものを除き、 プロックされています。例外として追加することにより、プログラムによって ますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。	
7	ログラムおよびサービス(巴)		
	名前 I Client.exe I GetUserName.exe		
	✓ Pkgagent.exe ✓ RFMgrAgent.exe ✓ Scriptagent.exe	a l	
	✓ srvany.exe □ UPnP フレームワーク ✓ ファイルとプリンタの共者		
	ロリモート アシスタンス ロリモート デスカトップ	·	
0	プログラムの追加(<u>R</u>)	ポートの追加(Q) 編集(E) 削除(D)	
	Windows ファイアウォー)	いによるプログラムのブロック時に通知を表示する(<u>N</u>)	
傳	外を許可することの危険	の詳細を表示します。	
		OK キャンセル	
参照		OK キャンセル	?×
<mark>参照</mark> ファイルの場所©:	CMN	OK キャンセル	?×
参照 ファイルの場所①:	CMN	OK キャンセル	?×
 参照 ファイルの場所Ф: し、 し、	CMN Client GetUserName Pkgagent	OK キャンセル	?×
<mark>参照</mark> ファイルの場所 (0): 最近使ったファイル	CMN Client GetUserName Pkeagent RFMgrAgent Scriptagent	OK キャンセル	?×
 参照 ファイルの場所Ф: 最近使ったファイル びご デスクトップ 	CMN Client Client Client Client Client Client Présent RFMgrAgent Scriptagent Scriptagent Srivany	OK キャンセル	? 🗙
多照 ファイルの場所Ф: 最近使ったファイル していたったファイル デスクトップ マイドキュメント	CMN Client GetUserName PrKeagent RFMgrAgent Scriptagent Srvany	OK キャンセル	?×
多照 ファイルの場所Ф: 最近使ったファイル デスクトップ マイドキュメント マイニンピュータ	CMN Client GetUserName Pkeagent RFMgrAgent Scriptagent Srvany	OK キャンセル	
 参照 ファイルの場所Ф: 最近使ったファイル 受う デスクトップ マイドキュメント マイ ニンピュータ マイ 	CMN Client GetUserName PReagent RFMgrAgent Scriptagent Scriptagent srvany	OK キャンセル ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
シェイルの場所の: ファイルの場所の: 最近使ったファイル ごご デスクトップ マイドキュメント マイニンピュータ マイネットワーク	CMN Client GetUserName PKeagent 不FFMgrAgent Scriptagent Srvany	OK ¥*>>セル	?▼

お使いの製品が ClientManager S タイプの場合

1. ClientManager 管理コンピュータの設定

WindowsXPの Windows ファイアウォール」の例外タブに ClientManager で使用する下図の1 つのプログラム を登録します。「プログラムの追加(R)」を押し、 参照」から ClientManager がインストールされている CMN フォ ルダを指定し、プログラムを一つずつ登録します。

Windows ファイアウォールは、コントロールパネル / セキュリティセンターで表示します。

19 W	indows ファイアウォー	- JL 🛛 🚺	
全角	股 例外 詳細設定		
入 W は	力方向のネットワーク接続 indows ファイアウォールで 動作がよくなる場合もあり	気は、下で遅択されたプログラムおよびサービスのためのものを除き、 プロックされています。例外として這加することにより、プログラムによって ますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。	
プ	ログラムおよびサービス(<u>P</u>):		
	名前 ✔ShrfCmgr		
	□ UPnP フレームワーク ▼ ファイルとプリンタの共有		
	☑ リモート アシスタンス □ リモート デンスタンス		
C	プログラムの追加(<u>R</u>))	ポートの追加(Q) 編集(E) 削除(D)	
]Windows ファイアウォーノ	NAによるプログラムのブロック時に通知を表示する(N)	
(5)	外を許可することの危険(の詳細を表示します。	
		OK (*+>>セル)	
		 OK キャンセル	
参照	6	OK キャンセル	? 🗙
参照 ファイルの場所(①:	CMN	OK キャンセル	?×
参照 ファイルの場所Ф: で <u>う</u>	CMN ShrfCmgr.exe	OK キャンセル	?×
参照 ファイルの場所ゆ: 最近使ったファイル	CMN ShrfCmgr.exe	OK キャンセル	2×
参照 ファイルの場所Ф: 最近使ったファイル	CMN ShrfCmgr.exe	OK キャンセル	?×
参照 ファイルの場所ゆ: 最近使ったファイル デスクトップ	CMN ShrfCmgr.exe	OK キャンセル	?×
参照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル デスクトップ	CMN ShrfCmgr.exe	OK キャンセル	
参照 ファイルの場所ゆ: 最近使ったファイル デスクトップ マイドキュメント	CMN	OK キャンセル ▼ ② ♪ ▷ …・	
参照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル デスクトップ マイドキュメント	CMN ShrfCmgr.exe	OK キャンセル	
参照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル デスクトップ マイドキュメント マイニンピュータ ()	CMN ShrfCmgr.exe	OK キャンセル	
参照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル デスクトップ マイドキュメント マイドキュメント マイコンピュータ マイネットワーク	CMN でShrfCmgr.exe	OK ¥₩)±ル	

2. ClientManager クライアントコンピュータの設定

WindowsXPの Windows ファイアウォール」の例外タブに ClientManager で使用する下図の3つのプログラムを登録します。 プログラムの追加(R)」を押し、 参照」から ClientManager がインストールされている CMN フォルダを指定しプログラムを一つずつ登録します。 更に ワァイルとプリンタの共有」にチェック印を入れます。

· • •	(indows ファイアワォール	
全般	役 例外 詳細設定	
ア w は	、カ方向のネットワーク接続は、下で選択されたブログラムおよびサービスのためのものを除き、 indows ファイアウォールでプロックされています。例外として追加することにより、プログラムによって 動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。	
7	ログラムおよびサービス(P):	
	名前	
	Ø GetUserName	
	✓ srvany □ UPnP フレームワーク	
	ロリモート デスクトップ	
(プログラムの追加(2) ポートの追加(2) 編集(2) 削除(2)	
] Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時にご通知を表示する(M)	
臣	<u>州を許可することの危険の詳細を表示します。</u>	
	 OK キャンセル	
	OK キャンセル	
参照	OK *ャンセル	 ? <mark>⊠</mark>
参照 ファイルの場所型:	OK キャンセル CMN ・ ・ ・	2
<mark>参照</mark> ファイルの場所Q: しいの	OK 추가건ル CMN	X ?
参照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル	OK キャンセル CMN CMN Client Client Client Srvany	
参照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル ビデコカレップ	OK ₹+2/2/J CMN	? X
参照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル デスクトップ	OK 추가건ル CMN V C P III- Cent GetUserName Tsrvany	
参照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル です デスクトップ マイドキュメント	OK ★ヤンセル CMN ♥ ② D P GetUserName ■srvany	
参照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル デスクトップ マイドキュメント	OK キャンセル CMN CMN Client GetUserName srvany	
参照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル 夏道使ったファイル マイ ドキュメント マイ ドキュメント マイ ニータ	OK ★+2/2// CMN	
参照 ファイルの場所Ф: しまし使ったファイル デスクトップ マイドキュメント マイ ドキュメント	OK ≭+r>tziv	
タ照 ファイルの場所の: 最近使ったファイル 夏道使ったファイル デスクトップ マイドキュメント マイドキュメント マイコンピュータ マイネットワーク	OK 本やンセル CMN ♥ ② ♪ P … ♥ Client ■ GetUserName ■ srvany ファイル名似:	

トーエイ工業株式会社